平成30年度　くまもと・わくわく基金
冠基金　東京エレクトロン九州・マッチングギフト

事業報告

団体名：NPO法人熊本県難聴者中途失聴者協会

助成事業名：難聴者中途失聴者のコミュニケーション力、社会参加力向上のための講座

（１）実施内容

- 難聴、中途失聴当事者及び家族を対象に、４日間のセミナーを開催した。
- 講義、体験発表、フリートーク、難聴者向け手話の学習を行った。

講義の内容は次のとおり

「聴覚障がいを見つめ直そう」

「障害者差別解消法及び合理的配慮について」

「便利なサービス、アプリ、社会資源等」

（１）実施内容

（２）助成金の活用

助成金は次のとおり活用した。

- *報償費*

  (1)情報保障費（要約筆記者謝金）

  (2)講師謝金
- *会場費*　パレア会議室
- *広報費*　ポスター・チラシ、郵送料
- *事務費*　消耗品、資料代
- *スタッフ費*

☆☆　**難聴者、中途失聴者を対象としており、情報保障費の占める割合が大きいのが当協会の特徴**　☆☆

（３）成果、市民の声（参加者やサポートを受けた方）

「医学モデル」から「社会モデル」へ

難聴、中途失聴当事者の意識、「障がい」概念に変化をもたらすことができた

「難聴のことを（周りの人に）言ってよいのかな・・・」

→「自分の障がいを知ることで、もっと相手にわかりやすく説明できるようになりたい！」

「（配慮を）待っているだけではだめなんだ」

（アンケートより）

（４）今後の事業展開

- 「障がい」のとらえ方が「社会モデル」へと大きく変化したことを知らない当事者への啓発。

- 社会資源を活用した「依存的自立」を受け入れる勇気・自己肯定感を育む支援。

- 「合理的配慮」は当事者発信！「見えない障がい」をどう伝えるとよいのか、ともに考えよう。

今年度は「当事者研究」の手法を取り入れて開催